



工学教育賞
募集案内

公益社団法人日本工学教育協会

1 工学教育賞設立の趣旨

2012年は日本工学教育協会が発足して60年目の記念すべき年として、また公益社団法人化を契機に、各種の事業を見直すと共に新しい制度の導入などの検討を行ってきています。この検討の一環で、1992年に40周年を機に設立した日本工学教育協会賞と、1997年に45周年を機に設立した工学教育賞の両賞について、それらの目的、内容を再検討致しました。

この結果として、両賞の趣旨を生かして発展的に工学教育賞に統合し、2012年度よりこの新制度を発足することと致しました。

これからの我が国の成長を目指して、優れた人材の継続的養成は重要な課題とされております。特に発展を支えるエンジニアを育成する工学系教育の大切さは、グローバル化が進化した社会においてさらに高まってきています。この中で、工学の幅広い分野とそれを実践で活かせる能力を養成するための優れた教育に対する期待はますます高くなってきています。この状況において、様々な手法や観点により優れた工学教育を推進・実践している個人・団体に工学教育賞を授与して、これらを顕彰します。加えて、工学教育へ関わる多くの方々の意識・意欲の向上も目指しています。

2 推薦方法

工学教育賞規程ならびに下記の事項に基づき、所定の書式に必要事項を記入し、必要であれば参考資料を添付の上、工学教育賞選考委員長に提出してください。原則として資料は返却しません。

2.1 記入内容・方法

- 2.1.1 標題は、できるだけわかり易く、かつ内容を具体的に示す標題にしてください。
- 2.1.2 分類は、表1のキーワードから複数を選び記入してください。あてはまるものがなければ「その他（ ）」として追加ください。
- 2.1.3 候補者の種別は、個人、連名、団体のいずれかを選んでください。
- 2.1.4 連名の場合は、候補者の情報は全ての方について記入してください。団体の場合は、団体名に加え、代表者1名の情報を記入してください。
- 2.1.5 推薦理由の内容は、あくまで、工学・技術者教育等の発展に多大の影響と貢献を与えたことに限ります。なお、学協会の部門長、例えば出版部門長も推薦者の資格を有しません。
- 2.1.6 業績の内容については、教育の内容、期間、対象、評価・効果や普及の状況について、具体的に記してください。

2.2 参考資料

論文・論説部門、著作部門は、対象となるものを1編程度別添してください。それ以外の部門については、業績内容説明の参考資料一覧に記入ください。

3 応募締切と書類提出先

締切は、毎年1月の第2金曜日とします。書類は下記に送付されるか、ご持参ください。

〒108-0014 東京都港区芝 5-26-20 建築会館 4階

公益社団法人日本工学教育協会 工学教育賞選考委員長 宛

電話：03-5442-1021

4 表彰

表彰は、日本工学教育協会年次大会において行います。

5 公表

日工教ホームページならびに『工学教育』誌に公表し、あわせて一般新聞等へ通知します

表1 業績の分類キーワード

教養教育、基礎教育、専門教育、キャリア教育、人間力教育、導入教育、語学教育、知財教育 教育手法、教育改革、教育評価、教育改善 教育振興、教育貢献、教育功績
初中等教育、高専教育、学部教育、大学院教育、企業教育、継続教育、生涯教育 機関連携、分野連携、産学連携、初中等連携、地域連携、国際連携
PBL教育、ICT教育、コンテスト型、ものづくり教育 実験、実践、講義、演習、研修 教科書、教材、システム、プログラム

資料－1 工学教育賞規程

資料－2 工学教育賞応募書式

資料－3 日本工学教育協会委員会規程

資料－4 工学教育賞、日本工学教育協会賞受賞者リスト